

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ニッセイロジスティクスセンター横浜町田 新築工事	階数	地上5F
建設地	大和市下鶴間1742-7	構造	RC造
用途地域	準工業地域、防火地域	平均居住人員	220 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年9月 予定	評価の実施日	2018年4月17日
敷地面積	41,524 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社 竹中工務店
建築面積	20,860 m <sup>2</sup>	確認日	2018年4月17日
延床面積	95,153 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社 竹中工務店



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.4**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 71%

③上記+②以外のオンサイト手法 71%

④上記+オフサイト手法 71%

46 (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.9

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.4

**LR のスコア = 3.7**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.5

### 3 設計上の配慮事項

総合		その他
神奈川県大和市に新築される工場である。 建築外皮の断熱性を高めるとともに高効率な設備機器を採用し、運用上の効率的なエネルギー利用に配慮している。		
<b>Q1 室内環境</b> ・ほぼ全面的にF★★★★の建材を使用している。	<b>Q2 サービス性能</b> ・耐用年数の長い内装材を採用し、建物の耐用性の向上に配慮している。 天井高を高く確保することで、室内の快適性の向上に配慮している。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> ・特に無し
<b>LR1 エネルギー</b> ・高効率な設備機器を採用し、エネルギーの効率的利用に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・OAフロアの採用によって部材の再利用可能性向上を図り、省資源化に配慮している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ・高効率な設備機器の採用によりCO <sub>2</sub> の削減に配慮している。 ・駐車場の確保や出入りのしやすい駐車場計画により、交通渋滞緩和に配慮している。 ・屋外広告物照明の配慮事項の過半を満たしている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される